



上の写真は比較的実が多く付いています

下の写真は実が少なく花は枯れ落ちてます



それでも7月12日は以下の状況です



★皆さん元気でお過ごしでしょうか。今年初めての会報がもう収穫の時期に近くなってしまいました。申し訳ございません。

★3月の藁外しそして剪定からもう6ヶ月経ち、10月5日、6日には収穫を行う予定（9月20日頃に最終決定）です。もしお手伝いしていただける方がいましたら現地に来てください。連絡先を後記します。

★今年は、5年目の木と増植した3年目の木にも結実させています。

★4月になり暖かくなり順調に芽吹いてきたのですが、その後の冷え込みと梅雨が長引いたことで、6月頃には可憐な白い花をつけ、そこに実を付けるところ、写真のように「花震い」と言う、花が茶色に枯れてしまい、結実する前に散ってしまう病気になってしまいました。

★この病気になると実の付きが悪くなり、また、他の病気にも感染し易くなります。ただ幸いなことに、3年目の幼木は「花震い」は少なかったので2018年以上の収穫は可能と思っています。

★今年は隣で同じぶどうを栽培する地主さんの息子さんが「できるだけ無農薬にしたい」とのことで、私も同調し無農薬に挑戦し、春先の殺菌剤、殺虫剤等の散布を止め、「ボルドー液」の防菌剤のみの散布としたのですが・・・

8月22日の色付きの状況



病気に罹った房



★7月に「ベト病」が蔓延し殺菌剤を散布しました。色付き始めた8月中頃からは晩腐病、黒糖病なども発症し、収穫に影響しそうです。

8月半ば以降は、病魔が拡大するのを抑えるため、懸命に消毒剤散布、枝切り、摘房、摘粒を繰り返しました。

★8月22日の色付きは、まだまだのようです。今年は長梅雨のため少し遅れているのかもしれませんが。昨年のこの時期はほとんど黒くなっていました。

★病気に罹ったぶどうの房は写真のようになります。健康な粒が少ない房は、房ごと切除します。

★収穫量は幼木を加えて340本の木から800kgを考えていましたが、今は600kg以上収穫できれば良しとしています。

昨年は170本から555kg収穫できました。

★先にも記しましたが、今年の収穫は病気に罹った房が多く、収穫量を確保するためにも選果、摘粒を繊細に行う必要があります。手数は多くあることに越したことはありません。

*10月5日か6日の何れかで東御市和の畑までお手伝いに来ていただける方がいましたら歓迎いたします。是非、下記に連絡いただければありがたいです。

山岸満廣 記

TEL : 携帯 090-1407-8877 会社 : 03-5620-1400

Mail : yamagishi@luentsquare.co.jp